

富田林市子どもの貧困対策計画(素案)に対するパブリックコメントの実施結果について

- ① 実施期間: 令和5年1月4日(水)～令和5年1月31日(火)
- ② 実施結果: 8通21件(うち有効数8通)
- ③ 提出方法: 窓口持参1通、FAX3通、LoGoフォーム4通
- ④ コメントにより修正した箇所: 1箇所

1. 計画の概要について

No.	関連頁・章番号	意見概要	市の見解
1	P2[1.(4)]	「子どもの貧困対策」をめぐる動向について、国の動向の表に、令和3年に「子供の生活状況調査」を実施していること、また、令和元年に国民生活基礎調査を行っており、子どもの貧困率は13.5%という結果も公表されていることを記載してはどうか。	ご意見を計画書に記載させていただきます。

2. 富田林市の現状と課題

(1) 子どもを取り巻く状況に関すること

No.	関連頁・章番号	意見概要	市の見解
2	P3[2.(1).②]	「生活保護世帯数と人員数」について、令和3年度は減少している。コロナ禍での申請者の生活状況はどのように影響しているか。	コロナ禍における国の緊急小口資金等や住宅確保給付金、生活困窮者自立支援金等の施策の活用により生活保護に至っていない世帯も一定数あるものと考えます。
3	P4[2.(1).③④]	「児童扶養手当受給者・就学援助認定者」について、どちらも減少傾向と記載されているが、受給者ではなく、申請者数はどうか。	児童扶養手当制度では原則申請者数が受給者数となります。子どもの人口減少に沿った減と考えております。
4	P4[2.(1).⑤]	「相談員相談受付数」について、増加傾向は理解できる。コロナ禍でもっと増えているかと想像してしまう。令和4年では更に増えているのではないかと心配になる。	令和3年度と4年度の相談受付数に大きな増減は見受けられないと考えております。
5	P4[2.(1).③～⑤]	児童扶養手当受給者や就学援助認定数は減少しているが、その比率は低い。その反面、家庭児童相談員の受付は増加している。その相談において中身の吟味や、相談の増加にともない相談員の確保が課題と思われる。	ご意見につきましては、現在、家庭児童相談員の増員に取り組んでいます。
6	P4[2.(1).⑤]	今後の実態調査を踏まえ、実効性ある取り組みを是非お願いしたい。その際、相談員からの生の声も集め分析に活かしていただきたい。	ご意見につきましては、今後の貧困対策を推進するうえで、参考にさせていただきます。
7	P4[2.(1).④]	「本市における就学援助認定の状況」について、就学援助率が令和3年になるほど減少しているのはなぜか。受けられる子どもたちが減少しているのか。	認定基準に変更はございませんが、申請数が減少していることが要因の一つと考えます。

(2) 富田林市子どもの育成支援に関する今後の取組みについて

No.	関連頁・章番号	意見概要	市の見解
8	P13[2.(2).②. [6]] P14[2.(2)]	「公的機関への相談割合が低い」ことを先の実態調査で指摘されている。政策的課題のまとめで記載されているが、具体策に欠けると思われる。	ご意見につきましては、今後の貧困対策を推進するうえで、参考にさせていただきます。
9	P5～14[2.(2)]	困窮度での分析がされている。コロナ前と同じように分析しようとするれば、困窮度で状況の分析となるが違う見方も必要と思う。	前回はコロナが流行する前の調査でしたが、今回の調査ではコロナの影響を踏まえた調査も実施する予定です。
10	P6[2.(2).②. [1]] P9[2.(2).②. [4]]	「世帯収入額の分布」の表において、母子世帯、父子世帯とも200万円未満が多いのが気になる。また、「困窮度別に見た学習理解度」の表も気になった。そういう子どもたちをどのように手助けできるか考えてほしい。	生活保護世帯及び児童扶養手当全部支給世帯の中学生を対象とした学習に関する指導・相談等を行う「生活困窮者自立支援事業」における学習支援事業に取り組んでいます。ご意見につきましては、今後の貧困対策を推進するうえで、参考にさせていただきます。

3. 施策の方向性に関すること

No.	関連頁・章番号	意見概要	市の見解
11	P18[3.(4).①]	「性の多様性に関する絵本の読み聞かせ」について、性の扱いはとてもデリケートで、経験と熟練された多様な知識の持ち主でないと教えることは難しい。教える人は、経験豊富な保健師であったり助産師や産婦人科医のレベルじゃないといけない。 性教育するなら、そのくらいの意気込みでしてください。最近流行りのLGBTQで教えたつもりにならないでほしい。 従来の普通の男女の性の違いや役割の方が大事。LGBTQに関する「絵本の読み聞かせ」をどうしても実施するのであれば、保護者同伴で実施してほしい。参加の強制や教育の強制はさせないでほしい。	ご意見につきましては、取り組みを進めていく中で、ご意見として参考にさせていただきます。
12	P18[3.(4).①]	「性の多様性に関する絵本の読み聞かせ」について、同性愛者を否定はしないが、LGBTQの本は特殊なので親が内容を把握してから読み聞かせしてほしい。同性愛者がいることや同性愛者で子どもを育てる親は確かにいるが、人間の基礎とは、性、異性の違いやその役割、家族のあり方が大事な基礎である。それをなくしてLGBTQの話は洗脳に近くなる。 幼児期の性犯罪が男女問わず多く、性虐待もある。また、学生や沢山の性交渉による若年層の望まない妊娠もある。男の子が小さい時に受けた性虐待で同性愛者になる子どももいる。そういう偏ったことも嗜好性になるので、性の多様性として教育するのは疑問が生じる。 まずは性の違いや自己や他者の性を尊重し、大事にして、嫌なことは嫌だと言うことをしつけていかないと、望まない妊娠や多様性によって同性愛など、新たに作ることになるのではないか。 LGBTQといった新しい価値観のそう言う内容には、子どもは参加させたくない。実験的要素が大きすぎる。昔から大事にされてる価値観は無くならない。そう言うことを大事に子どもに伝えてほしい。また、経験を積んだ常に勉強している助産師が性の話をするのをさせてほしい。	ご意見につきましては、取り組みを進めていく中で、ご意見として参考にさせていただきます。
13	P18[3.(4).①]	「性の多様性に関する絵本の読み聞かせ」について、LGBTQと貧困対策計画となんの関係があるのでしょうか。純粋な性教育と貧困なら若年層の妊娠などに繋がるのでわかるのですが、LGBTQの普及のためのただの宣伝のように感じる。 LGBTQと貧困がどのように結びつくのか疑問に感じた。	相対的貧困の状態にある子どもには多くの課題や困難があります。「性の多様性に関する絵本の読み聞かせ」については、自分らしさや自己肯定感を育み、子どもの育ちを支える施策の一つであると考えております。
14	P18[3.(4).①]	「性の多様性に関する絵本の読み聞かせ」について、LGBTQだけにスポットを当てるのも誤解を生じる。多様な性というのであれば、LGBTQの単語を使わない方がいい。LGBTQと出すだけで限定されてる気がするので、LGBTQの単語を使わない方がいい。LGBTQと貧困とが関連することがあって、かつLGBTQが今後重要な性教育になり貧困解消するのであれば、そこを重点的にわかりやすく明記してほしい。	ご意見につきましては、今後、LGBTQから抱える貧困について示していく中で、参考にさせていただきます。
15	P19[3.(4).②]	困窮者だけでなくいろんな子どもに開かれた子ども食堂や、寺子屋など、子どもにいろんなこと教える場があってもいいと思う。子ども食堂は主流になっているので、寺子屋みたいな、気軽になんでも学べる場所、囲碁や将棋などの遊び、勉強、簡単な運動を教えられる環境づくり、一定の教育を受けたり資格を持っている人や親が寺子屋の先生として登録して、自由に出入りできて教えたりする場所があってもいいと思った。	ご意見につきましては、今後の貧困対策を推進するうえで、参考にさせていただきます。

その他(全般)

No.	関連頁・章番号	意見概要	市の見解
16		コロナ感染症で子どもたちのくらし、学校生活などの権利が奪われていると思う。権利が壊れた状態で、コロナ禍が長く続く事も考慮してコロナの状況も含んで施策の検討をお願いする。また、ヤングケアラーや障害を持っておられる方、LGBTQ、ジェンダー平等への配慮も施策に入れてもらえるように願う。	ご意見につきましては、今後の子育て支援施策を推進するうえで、参考にさせていただきます。
17		若いときに妊娠する子どもたちがいる。自分の体を守るための性教育をきちんとしてほしい。また、国や府がやっていないレベルの性教育をしてほしい。	性教育については、児童生徒の発達段階に応じ、教育計画に基づいて適切に指導するように取り組んでまいります。
18		「子どもの生活実態調査」について、2017年に大阪府が実施した子どもの生活実態調査に引き続き、今年再調査を実施されると聞いている。その結果を是非公表していただき、説明会を実施してほしい。	ご意見につきましては、共同実施する府下市町村の動向等を注視してまいります。
19		昨年起きた2歳児の死亡事件というような事態が二度と起きないようにしていただきたい。「市民みんなで子供を守っていく」そんな富田林に是非して頂きたいと思う。貧困や子育てで困っている市民を援助していきましょう。	本市としましても二度とこのような事案を発生させないとの強い思いをもって、今後の子育て福祉に取り組んでまいります。
20		給食費を無償にしてほしい。それが一番の貧困対策と思う。	ご意見につきましては、学校給食事業を推進していく中で、今後の参考にさせていただきます。
21		小中学生の給食を無償化にし、貧困世帯でも安心できるようにしてほしい。	ご意見につきましては、学校給食事業を推進していく中で、今後の参考にさせていただきます。